

応用統計学 2018 講義資料の正誤表

2018年10月17日更新

清

第1回

p.3 慣習に従い, データから求めた分散は σ^2 でなく s^2 に修正 (4箇所)

p.5, 図2のキャプション 点線 → 破線

第2回

p.2, 下から3行目 n 個の確率変数の独立性を定義しておく必要があった:

$$X_1, \dots, X_n \text{ が独立} \iff P(X_1 \in A_1, \dots, X_n \in A_n) = \prod_{i=1}^n P(X_i \in A_i).$$

補足: 2つの変数の組ごとに独立であっても, 全体として独立とは限らない。この性質の工学的応用として「秘密分散法」がある。